

# 日高地域における林業の活性化 に向けた取り組み

地域課題の解決に向けた取組

日高北部森林管理署

当署は北海道の中央南西部に位置し、日高山脈の北西部の約10万haの国有林を管理経営しております。

管内を南西方向に流れる沙流川は、日高山脈の熊見山を源に、途中で幌尻岳を源とする糠平川等の支流と合流し、日高町門別地区で太平洋に注いでいます。この沙流川周辺に広がる国有林は、昨年夏の数度の台風等に見舞われ、林道等は甚大な被害を受け、森林施業等の円滑な実施に支障が生じました。



落橋した千呂露橋  
(日高町)

特に、昨年8月下旬の台風10号では国道274号線の橋が落ち、日高町千栄地区の住民が一時孤立状態になりましたが、国有林のホロナイ林道を利用して無事避難をすることができました。

## 列状間伐等の普及推進

当署管内の森林の7割が国有林で、間伐を中心に木材の安定供給等を行っています。一方、民有林は、比較的大規模な会社林が多いことから、他の日高地方と比較して搬出間伐は進んでいますが、列状間伐の実施状況は、日高地方の他地区と同様に1割に満たない状態です。

このような状況を改善するため、日高振興局森林室、同平取事務所や日高南部森林管理署と共同で森林組合への支援として意見交換を行い、「搬出

間伐の推進には、団地化による施業集約と作業効率の良い路網の配置等を森林所有者に採用してもらえよう、メリットや取組事例を普及することが必要不可欠」との結論となり、10月に新冠国有林で、搬出間伐等の検討会を実施しました。



搬出間伐の検討会  
(新冠町)

検討会では、搬出間伐のメリット等国有林の取組みの説明が十分にできなかったこともあり、今後

も引き続き地域の森林所有者が積極的に、搬出間伐等を導入していけるよう日高振興局森林室と連

携を密にして取り組むことが必要と感じました。

## バイオマスの安定供給

道央地域では昨年、バイオマス発電所が本格稼働を始めたほか今後、更に発電所が稼働することから、発電用チップのニーズが高まっています。

当署では、木質バイオマス資源の安定供給の取組として、昨年からは林地未利用材の情報発信と販売を行ってきました。

本年度は素材システム販売や初回間伐を中心とした伐採計画の見直しなど木質バイオマス資源の利用を視野に入れた間伐箇所への掘り起こしを行ったところです。

一方、これらの追加指定した箇所では8月の台風等により林道等が被災し、その復旧工事が必要となっており、引き続き対応を進め

ているところです。



バイオマス資源予定地  
(日高町)

## 民有林と国有林の連携

民有林と国有林の効率的な路網整備は、間伐等の森林整備の推進には必要不可欠です。

このため、民有林・国有林の情報を網羅した共通図面の作成を日高振興局森林室平取事務所と検討しております。

まず、手始めとして、現在民有林林道の把握のため町村職員を含めたGPS研修を企画しているところです。

今後共、地域林業の活性化の為に民有林と連携を進めて参る考えです。